

## (腎臓内科)外来化学療法承認レジメー一覧

NO.	診療グループ	プロトコール名	使用薬剤	投与量	対象疾患	承認日
1	腎臓内科	腎内Rituximab抗体関連型拒絶反応	リツキシマブ (リツキサン)	200mg	腎移植後抗体関連型拒絶反応	R3.11.15

抗体関連型拒絶反応は治療難渋病態として知られ、移植腎廃絶の原因の一つである。臨床上エビデンスのある治療法として血漿交換、ガンマグロブリン大量療法IVIGがある。その他、エビデンスレベルは低く限定的である治療として、ステロイドパルスや今回申請するrituximabがある（資料1-3）。抗体関連型拒絶反応に対して血漿交換、IVIG、rituximabは保険未収載であるが、全国の移植施設において広く実施されている（資料4）。Rituximabは血漿交換、IVIGと比較し医療コストは極めて低く、また類似病態であるABO不適合腎移植の脱感作療法としてすでに保険適応があることからその拡大解釈として広く使用されていると思われる。当院では、組織診断にてactive antibody-mediated rejection(Banff classification in recent)を確認された症例において、基盤の免疫抑制薬の適正化、ステロイドパルスといった汎用治療に抵抗する症例に限定し、本レジメンを適用し、多くは血漿交換と組み合わせて治療を行う方針である。